【構成トレーニング】

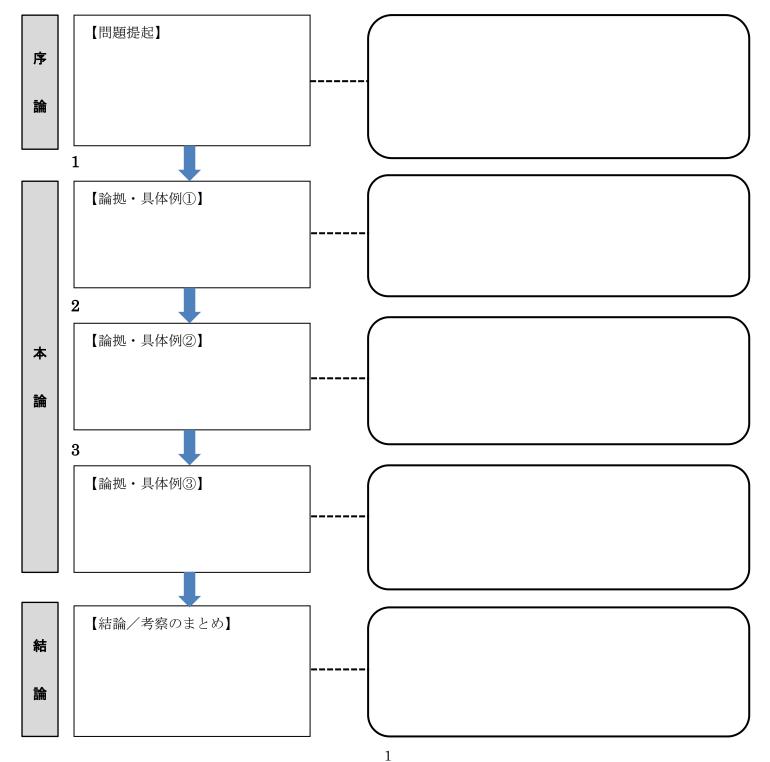
8 アウトライン〔構想〕を立てる

指定されたテキストや講義で配布された資料をもとに、自分なりの〈テーマ〉を設定することができたら、次はいよ〈アウトライン〉の作成です。基本的な段落構成に基づき、大まかなアウトラインを立ててみましょう。

1. まずは、あなたのレポートの〈題名〉を書き出しましょう。

テーマ (問題提起/主張)

2. 次に、下記の段落構成にしたがって、大まかな論理展開を考えていきましょう。



【記入のポイントと参考例】

1. まずは、あなたのレポートの〈題名〉を書き出しましょう。

テーマ

女性の労働環境の改善は経済成長につながるか。

〔問題提起/主張〕

2. 次に、下記の段落構成にしたがって、大まかな論理展開を考えていきましょう。

序

論

本

【問題提起】

「はじめに」

設定したテーマと具体的な「疑問 点」を挙げる。

これから書こうとする内容の概要 を読み手に伝える。

1. ワーク・ライフ・バランスの見直し

政府が掲げる成長戦略のひとつに「女性労働力」の掘り起こしがあり、専業主婦(主夫)世帯の税負担を軽くする「配偶者控除」の見直しが図られている。しかし、多くの女性が家事・育児・介護の中心的役割を担っている現状において、単に女性の労働力だけを推進することが経済活性化につながるのだろうか。

【論拠・具体例①】

「疑問点」に対する「答え」を述べていく過程を具体的に述べる。 例[資料分析から判明した論拠]

2. 非正規雇用者の待遇改善

【論拠・具体例②】

例〔現状分析・背景など〕 〔要因の説明など〕

※数値データ等を明確に示す。

3. ワーキングマザーを支える環境整備

【論拠・具体例③】

本論で示す具体例(論拠)に必要なのは、<u>客観性・説得力・具体性</u>

第一に、夫婦のワーク・ライフ・バランスという視点である。女性の年齢層別労働力率(2011)は、30代での落ち込みがある。これは、結婚・出産を機に仕事を辞めざるをえない状況を示していると考えられる。したがって、育児休業制度を根本的に見直す必要がある。

第二に、雇用形態の問題である。非正規雇用者は2000 万人を突破(総務省、2013)し、そのうちの7割が女性 である。また、過去5年間に介護・看護のために離職し た人は約48万7000人で、約8割が女性である。高齢化 に伴う介護負担が質の高い働き方の壁となっている。

第三に、女性の社会進出を阻む問題のひとつとして保育園の待機児童問題が挙げられる。この問題を解消するためには保育士の確保を考えなければならない。しかし、およそ57万人いるとされている潜在保育士の多くが、賃金面などから復職を望んでいない現状がある。

結

【結論/考察のまとめ】

「おわりに」

本論で述べたことから導き出され た「答え」を明確に示す。

→序論で述べた「疑問点」に対応 するように注意! このように、女性の「社会進出」を促進させ、安定した環境での労働を可能にするためには、同時に男性の「家庭進出」を推進する視点が重要である。女性だけではなく、男性も家事・育児・介護などに積極的にかかわることが女性の労働力確保につながると考える。

※2,000 字程度のレポートの場合、各段落 400 字程度書くことを目安として、論を組み立てていきましょう。